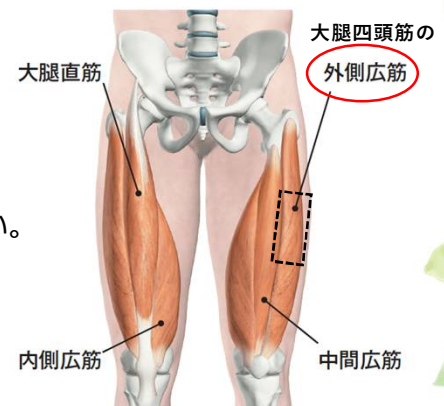


2021年8月

サリドマイド薬禍者および新型コロナワクチン接種を担当する医療者へ 新型コロナワクチン筋肉注射に関する注意点



- ▶ 上腕の三角筋が最適だが、やむを得ない場合は
太ももの足の付け根に近い位置の外側
(大腿四頭筋の中央の外側部位 = 外側広筋) でもよい。
* 右および次頁のイラスト参照
- ▶ 大腿の場合の注射針は以下が望ましい
 - 体重 70 kgぐらまでの男女は1.5～2.5 cmの注射針
 - 体重 70～90 kgの女性と、70～120 kgの男性は2.5～3.5 cmの注射針* 参考：1 ml シリンジ用のオレンジ針の長さが2.5 cm、23Gブルー針が3.2 cm
- ▶ 上肢に注射を受ける場合は、注射後1～2日は疼痛のため衣服の着脱が困難になる可能性があるため、脱ぎやすい服を用意する。
- ▶ 大腿に注射を受ける場合は、注射後1～2日は疼痛のため歩行や移動が困難になる可能性があるため、あらかじめ対応を準備する。
- ▶ 一般的に注射当日から2～3日は発熱、注射部位の痛み、倦怠感、頭痛などの副反応が生じる可能性があるため、あらかじめ食事、飲料、脱ぎやすい着衣、生活に必要な品、室内での移動の手段を準備しておくことが望ましい。また、可能であれば、ワクチン接種後の副反応や体調不良に備え、注射翌日には仕事や用事を入れないほうが無難である。

Q&A

▶ サリドマイドの障害があるが接種しても大丈夫だろうか？

→ 大丈夫です。サリドマイドの障害と新型コロナワクチンの副反応とは直接関係がないからです。もちろん一般的に、発熱や注射部位の疼痛などの副反応が出たり、まれにはアナフィラキシーショックに陥る人がいるので、サリドマイド薬禍者の皆さんでも同じぐらいの頻度でそのような問題が起こる可能性はあります。しかし、他の人達と比べて副反応やひどい合併症が生じやすいとは考えられません。サリドマイド障害と関係なく、「もともと薬剤に対するアレルギー反応が強い方、および過去にインフルエンザ等のワクチンでひどい副反応が出た方」は要注意です。こうした方は、新型コロナのワクチンでも副反応が強く出る懸念があります。その他、がんにかかっている患者さん、強い免疫抑制薬を使用中的の方、出血傾向のある方は、接種前にかかりつけ医とよく相談して下さい。

▶ サリドマイドで副反応が強く出ることはないだろうか？

→ 上述のように、サリドマイド薬禍者だから副反応が強く出やすいことはないと考えます。

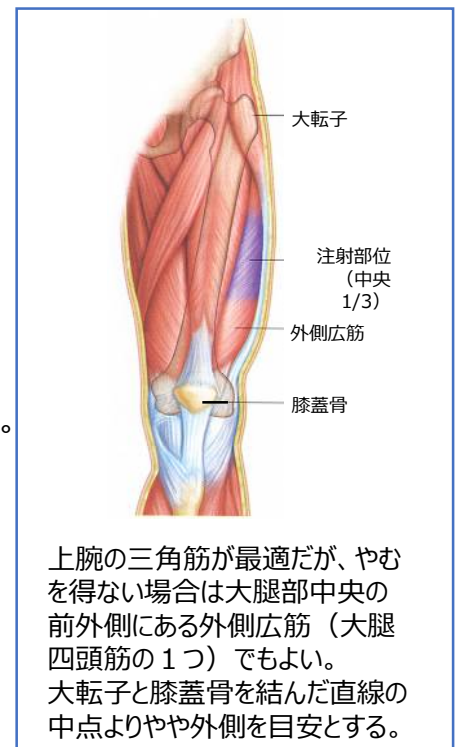
▶ 重大な副反応が出ることはないだろうか？

→ 上述した通りです。サリドマイド薬禍者であることと関係なく、「重大な副作用が絶対に生じない」とは断言できません。このような不安や心配は、健康に自信が無い方や高齢者、たとえ若者であっても皆が抱く可能性があることを理解してもらえればと思います。

▶ 接種したいが上肢三角筋が少ししかない場合はどこに接種したらよいのか？

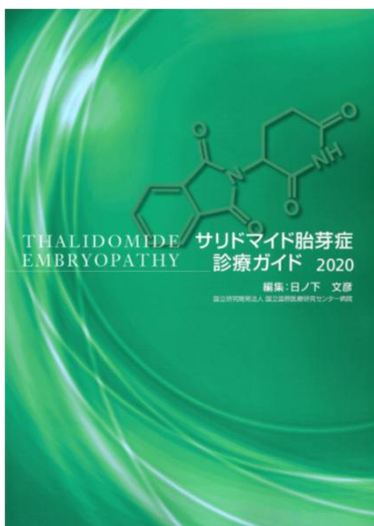
→ 薬の添付文書（説明書）と厚労省の公式な接種手順には「通常、（腕の）三角筋に筋肉内接種すること」とされているため、基本的には（腕の）三角筋に筋肉内注射をしてもらってください。なお、上腕部が極端に短い方や上腕の筋肉が少ない方については対応が極めて難しくなりますが、添付文書（説明書）には「医師の判断により別の部位に筋肉内注射することを妨げるものではありません。その場合は、神経の走行などに十分注意して接種してください」と記載されています。

腕以外の注射部位としては、大腿部前面で大腿部中央の前外側にある外側広筋（大腿四頭筋の1つ）に注射することがあります。かかりつけ医とよく相談して、ワクチン接種部位を決めましょう。こうした問題の場合、最終的には自己責任で、かかりつけ医と相談のうえ、医師と自分が一番いいと考える場所に注射してもらうしかないでしょう。



▶ 問診でサリドマイドを知らない医療者にサリドマイドだと言っても分かってもらえないのではないかといった様々な不安な思いを伺う機会が増えました。

→ 「サリドマイド薬禍」という問題をよく知らない医師もいます。「かかりつけ医」にしたい先生がサリドマイド胎芽症についてよく知らない場合は、「いしずえ」や「サ症研究班本部」にご連絡下さい。その医師に「サリドマイド胎芽症診療ガイド 2020」やその他の情報を送付することができます。



厚生労働行政推進調査事業
「サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築」研究班
研究代表者 田辺晶代